

特急寝台日本海 [カニ24, オハネ724] オハネ24, オロネ24 交直流電気機関車 EF81

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベアリングをこ使用する方は、マグネットカプラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカプラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気を付けて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の汚物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 パンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

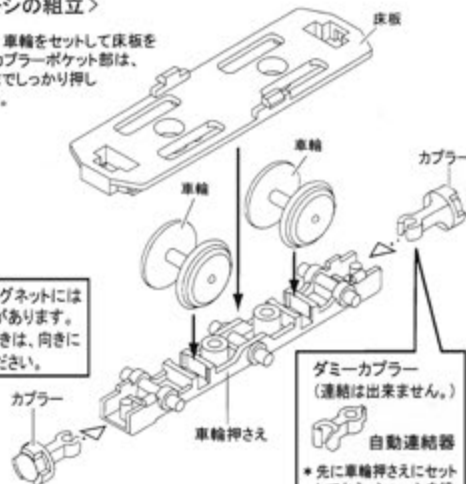
《商品・修理品送付先》 パンダイ 栃木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

機関車用シャーシの組立て

1 <シャーシの組立>

- 車輪押さえに、車輪をセットして床板を合わせます。カプラーポケット部は、パチンとなるまでしっかり押し込んでください。



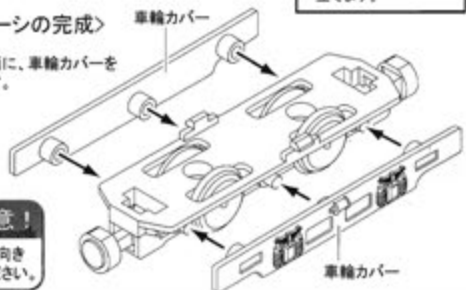
- カプラーのマグネットには極性(S・N)があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

ダミーカー
(連結は出来ません。)
自動連結器

- 先に車輪押さえにセットしてから、シャーシを組み立てます。

2 <シャーシの完成>

- シャーシ側面に、車輪カバーを取り付けます。



向きに注意!

- 車輪カバーの向きに注意してください。

Nゲージ化用パーツの取り付け方法

*Bトレインショーティーは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビishopなどでお買い求めください。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「Bトレインショーティー専用動力ユニット」(機関車用)を使用します。

通常色(黒)と、グレーがあります。

- 床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。



- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノープロウは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けください。)
- EF200、EF210、DD53などは、車体長が長いためカプラーの首裏りが充分にできません。重運運転や、種小カプラー、Sカプラーでは、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

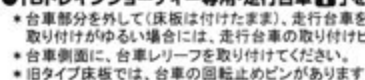
- 「Bトレインショーティー専用動力ユニット」(電車・気動車用)もしくは「同動力ユニット」(路面電車用)を使用します。



- 左右4箇所の爪で、車体と固定します。
- ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「Bトレインショーティー専用走行台車」を使用します。



- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- 台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。

- スカートのある先頭車は、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを外すか、または台車のカプラー部分を切り取って取り付けてください。

- 新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(難しい)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。
- 動力ユニットの装着には、車体によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

- EF64e、DF50、DD53など、車体側の低い車両には装着できません。

- 11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

- KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを取り取ってからシャーシと交換・装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

このほか、取り付け方式の、各社・台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO:11-401 PS14:直流パンタグラフ

KATO:11-403 PS22:直流・下枠変形パンタグラフ

KATO:11-404, 11-420 PS16:直流パンタグラフ

※11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。

グリーンマックス:80-2:PS13:直流パンタグラフ

グリーンマックス:80-3:PT42:直流パンタグラフ

グリーンマックス:80-5:PT43:直流パンタグラフ

クロスサイン:PT71C:シングルアームパンタグラフ

このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。



通勤電車① コイルバネタイプ 0T339タイプ 100系など

急行電車① 空気バネタイプ 0T229タイプ 165系など 485系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

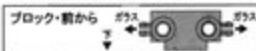
通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ 0T619タイプ E231系など

客車用車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
 ・ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥までめ込んでください。

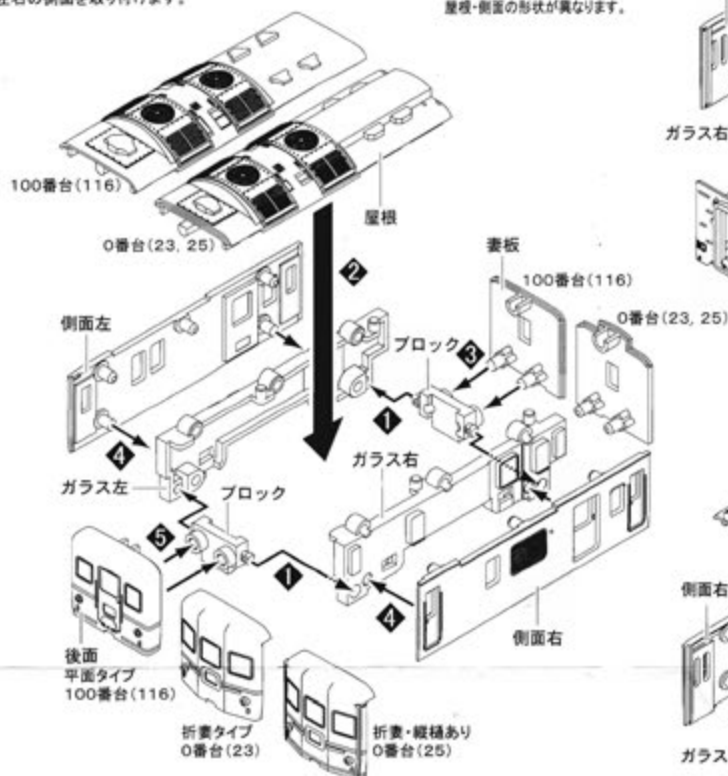


- ②屋根を取り付けます。
 ③妻板を取り付けます。
 (緩急車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
 ④左右の側面を取り付けます。

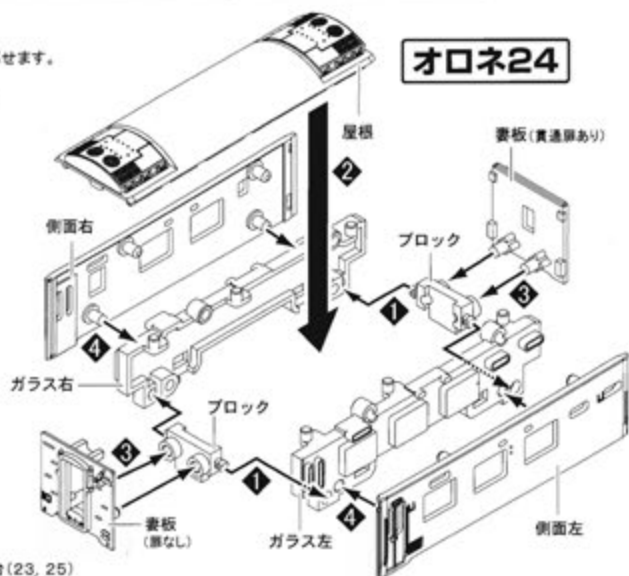
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
 (中間車は完成です。)
 ⑥緩急車は後面を取り付けて完成です。

カニ24⁰-100

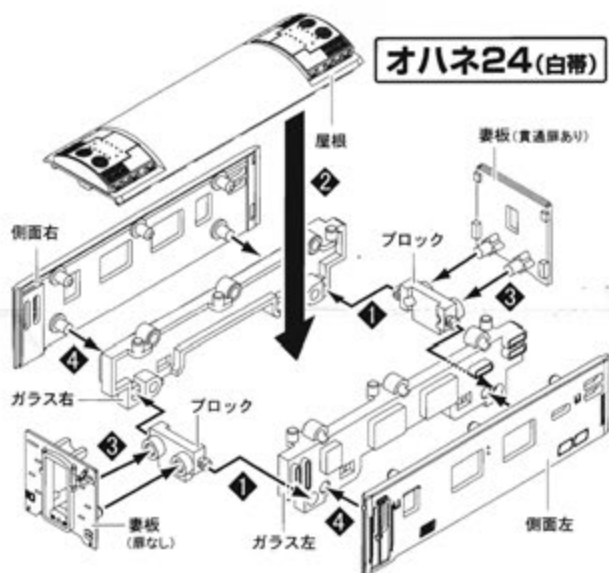
・23号車は機関更新タイプ
 屋根・側面の形状が異なります。



オロネ24

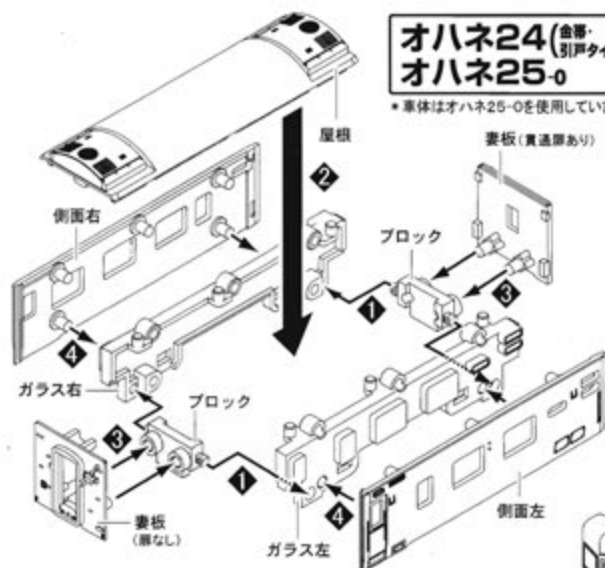


オハネ24(白帯)

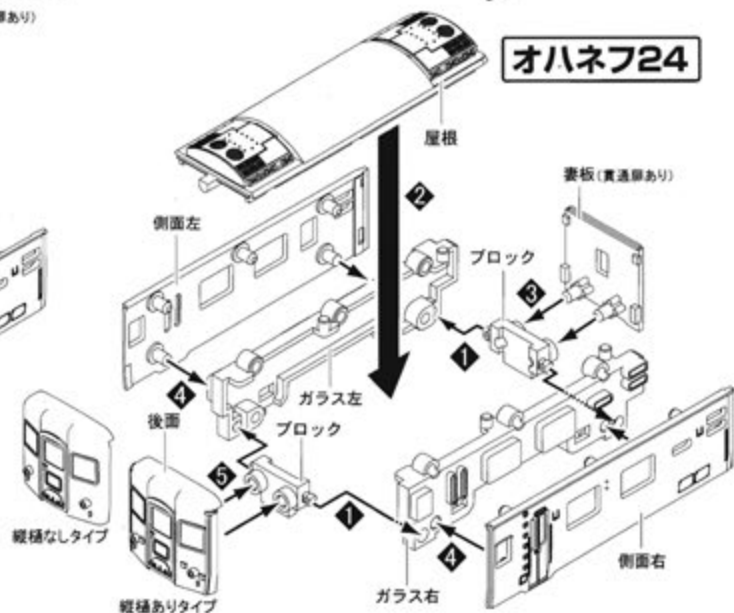


オハネ24(合帯・引戸タイプ) オハネ25-0

・車体はオハネ25-0を使用しています。



オハネフ24



・取り付け部が圓い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

・取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

ステッカーの貼付け位置

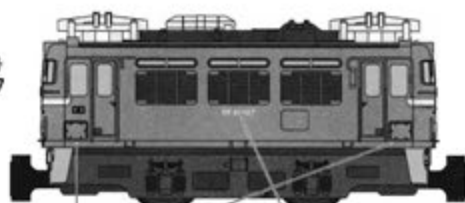
★貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。
(万物的お取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

EF81

ヘッドマーク



車体番号
EF81107



点検蓋

車体番号 EF81107

カニ24

テールマーク



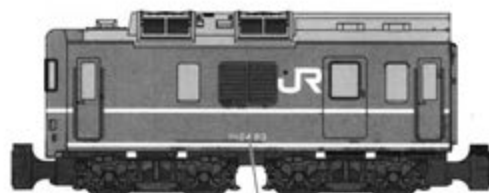
カニ24-116



カニ24-23



カニ24-25



車体番号 カニ24 23

オロネ24



車体番号 オロネ24 2

オハネ24(金帯)



車体番号 オハネ24 3

オハネ24(白帯)



車体番号 オハネ24 7

オハネフ24



車体番号 オハネフ24 2

テールマーク



実車の編成例

★時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。

●日本海(2010年12月頃の編成)

一大阪

青森一

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
オハネフ24	オハネ24	オハネ24	オハネフ24	オハネ24	オハネ24	オハネ24	オハネ24	オハネフ24	オロネ24	カニ24

※7、8号車の車両は連結しない日がある。

●日本海(2012年3月16日の編成)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	◇	◇
オハネフ24 19	オハネ25 152	オハネ25 148	オハネフ24 15	オハネ25 213	オハネ25 218	オハネフ24 21	オハネ24 3	オハネフ25 117	オロネ24 2	カニ24 25	EF81 101

◇	◇	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
EF81 106	オハネフ25 129	オハネ25 38	オハネ25 147	オハネフ24 2	オハネ24 7	オハネ25 220	オハネ25 151	オハネ24 20	オハネフ24 7	オロネ24 4	カニ24 23	

※オハネフはすべて大阪向き。

●日本海(JR西日本担当時 日本海1号～4号)

一大阪

青森一

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
カニ24	オロネ25 300番台	オハネ25	オハネ25	オハネフ25	オハネフ25	オハネ25	オハネ25	オハネフ25	オハネ25	オハネ25	オハネフ25

※9～12号車の車両は連結しない日がある。

機関車用車体の組立て

EF81

- ①左右のブロックパーツを合わせます。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタグラフを取り付けます。)
- ③左右の側面を取り付けます。
- ④前面を取り付けます。
(先にスカート在前面に取り付けます。)
- ⑤シャーシの穴、爪に合わせて車体をかぶせて完成です。

* 取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

* 取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

EF81・正面の形状について



後期形
正面・通風口なし
39～136号機
(401～414号機)

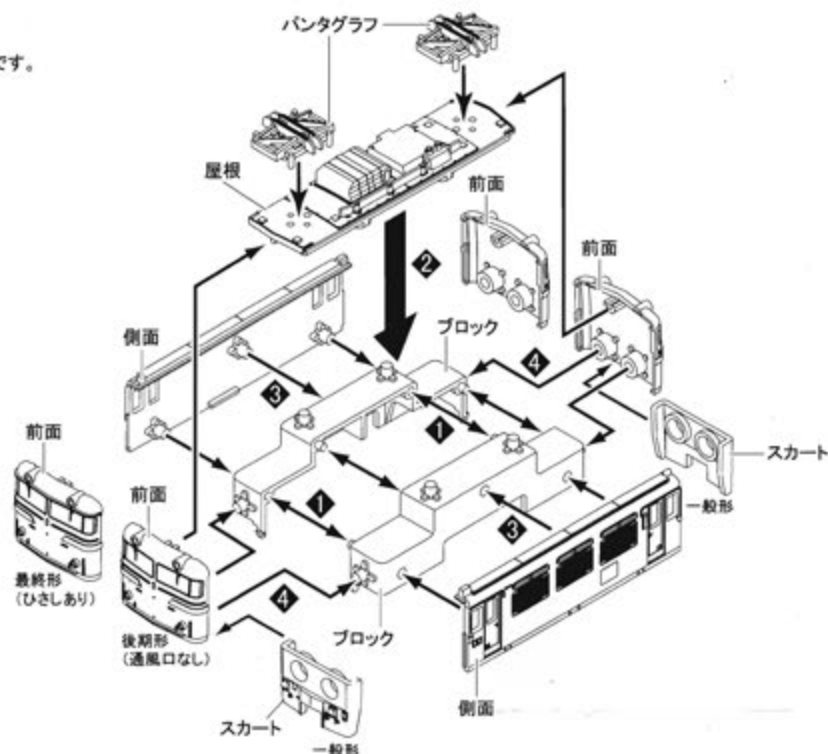


最終形
正面・ひさしあり
137～152号機

* ヘッドマークの装着は、両面テープや接着剤などを使って、車体正面に固定してください。



* ヘッドマーク、車体番号のシールは、台紙から切り抜いて貼ってください。(刃物のお取り扱いにはご注意ください。)

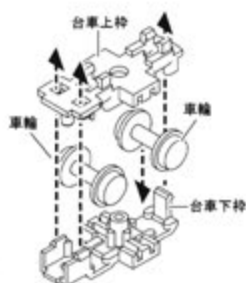


客車用シャーシの組立て

1 <台車の組立>

* 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のカギを、台車上枠に通します。

* 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



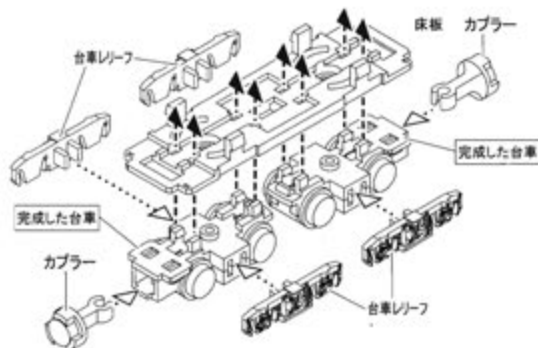
向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください

2 <シャーシの完成>

* 出来上がった台車の4箇所のツメを床板に通します。
* カプラーと台車レリーフを取り付けます。

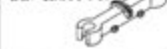
* カプラーのマグネットには極性(S・N)があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。



カプラー(連結器)について。

ダミーカプラー (先頭車正面などに使用します。)
* 連結はできません。

ドローバー (2両を固定連結する場合に使用します。)



台車レリーフの向きに注意。



車体番号(EF81)

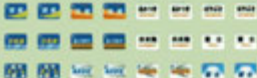
EF 81101	EF 81102	EF 81103	EF 81104
EF 81105	EF 81106	EF 81108	EF 81109
EF 81111	EF 81117	EF 81117	EF 81117
EF 81119	EF 81124	EF 81124	EF 81124
EF 81127	EF 81131	EF 81137	EF 81137
EF 81142	EF 81142	EF 81142	EF 81142
EF 81147	EF 81147	EF 81147	EF 81147
EF 81148	EF 81148	EF 81148	EF 81148

車体番号(24系25形)

EF 24210	EF 24211	EF 24212	EF 24213	EF 24214	EF 24215	EF 24216	EF 24217	EF 24218	EF 24219
EF 24220	EF 24221	EF 24222	EF 24223	EF 24224	EF 24225	EF 24226	EF 24227	EF 24228	EF 24229
EF 24230	EF 24231	EF 24232	EF 24233	EF 24234	EF 24235	EF 24236	EF 24237	EF 24238	EF 24239
EF 24240	EF 24241	EF 24242	EF 24243	EF 24244	EF 24245	EF 24246	EF 24247	EF 24248	EF 24249
EF 24250	EF 24251	EF 24252	EF 24253	EF 24254	EF 24255	EF 24256	EF 24257	EF 24258	EF 24259
EF 24260	EF 24261	EF 24262	EF 24263	EF 24264	EF 24265	EF 24266	EF 24267	EF 24268	EF 24269
EF 24270	EF 24271	EF 24272	EF 24273	EF 24274	EF 24275	EF 24276	EF 24277	EF 24278	EF 24279
EF 24280	EF 24281	EF 24282	EF 24283	EF 24284	EF 24285	EF 24286	EF 24287	EF 24288	EF 24289
EF 24290	EF 24291	EF 24292	EF 24293	EF 24294	EF 24295	EF 24296	EF 24297	EF 24298	EF 24299

点検蓋 

テールマーク(24系25形)



ヘッドマーク(機関車)

